

第13回 卒業証書授与式

3月1日(火)、第13回卒業証書授与式を挙りました。卒業生の17名の皆さん、ご卒業おめでとうございます。柳校長からは、式辞の中で「どのような道であっても、自分を活かせると思える道を選ぶこと、そしてその道信じて進んで行くことが人生を豊かに生きる生き方だと思います。」「明るく、強く、朗らかに！そして、“利他の心”を抛り所として、一つ一つを丁寧に、自らの道を切り拓いてください。』と、はなむけの言葉がありました。また、答辞では卒業生代表の西柚花さんから、学校生活での思い出やお世話になった方々への感謝の気持ちとともに、「今日の卒業式は、私たちにとっては新たなるスタートです。この学び舎で過ごした日々と支えてくれた方々への感謝を胸に、これからの人生を自分の足で一步步歩いていくことをお誓いします。」という力強い決意が述べられました。本来であれば、在校生も出席して卒業証書授与式を挙るところですが、感染症対策のため、生徒会の3名が代表で出席する形となりました。直接、「おめでとう」「ありがとう」とお祝いの言葉や感謝の言葉を伝えなかったと思いますが、叶わなかった分、生徒会主催で「卒業生を送る会」が開催され、在校生の皆さんのビデオメッセージが流れました。在校生の皆さんの想いはきっと卒業生に届いたことでしょう。また、「卒業生を送る会」では、卒業生の3年間の思い出を綴った記念スライドも上映され、たくさんの思い出をかみしめながら、拍手の中、卒業生は学舎を巣立っていきました。在校生の皆さんは、卒業生が残してくれた海南下津高等学校の素晴らしい伝統を引き継ぎ、日々精進していきましょう！改めて、
～ 卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんの今後のご活躍を心からお祈ります ～



卒業生体験講話「ようこそ先輩」

3月22日(火)、進路選択の参考にと、本校卒業生(10期生の河原田ゆずさんと田村香鈴さん、11期生の山口栞奈さん)を招いて、進学先、就職先での生活や高校時代の思い出などを話していただきました。3人のお話を聞かせていただいて共通していたことは『高校生の時から自分自身と向き合い、自分に厳しく夢に向かって真っ直ぐ生きている』ということでした。つつい自分に甘くなってしまうかもしれませんが、自らを律し頑張りましょう!!



養護老人ホーム訪問

毎年養護老人ホームを訪問して、高齢者の方と交流会を開いていましたが、今年度はコロナ禍ということで交流会が中止となりました。そこで、別の形で交流することはできないかと考え、3月8日(火)の放課後、学校家庭クラブを代表して執行部の有松誇子さん、西原くるみさんが養護老人ホーム橋寮を訪問し、みんなで作った「おはぎ」をプレゼントしました。

皆さんからはお礼の言葉と笑顔をいただきました。

